

未来の学校

愛知県豊田市立東広瀬小学校 加納 敬子

5年後、10年後、未来がどのくらい先かわかりませんが、子供たちの夢を育む未来の学校について考えてみました。

1 開かれた学校

東京の品川区や千葉県では、小学校から学区制をなくす方向にきています。これからは、決められた学校に入学するのではなく、保護者や子供が学校を選ぶようになるのではないでしょうか。その基準にしてもらうためだけではなく、今からでも、学校側は学校の教育方針、重点目標、特徴となる取り組み、授業内容、教師の考えなどHPなどで保護者や地域にもっと知らせなくてはならないと思います。

2 教師のやる気

その中で重要視される問題として、教師の力量が挙げられます。各学校にインターネット接続のコンピュータが導入され、すべてではないでしょうが、コンピュータを使った授業構想もきつとなされてくると思います。コンピュータが使えない、分からないでは始まりません。新しいものに挑戦する気持ちを、教師から高めていきたいものです。また、子供のやる気を十分引き出してやれる教師でなければなりません。そのために、どういう活動をするべきか、させてやるべきか、試行錯誤であってもいい、失敗してもいいので挫折感だけは味わわないように、味わわせないように、常に前向きでありたいです。

3 21世紀を生きる力

2002年から「総合的な学習の時間」が導入されます。今、どの学校もこの時間をどう取り扱っていくか頭を悩ませていると思います。この時間の大きな目標は「21世紀を生きる力をつけること」だと聞きました。そのために

- * グローバルな視点から問題解決をする
- * コミュニケーション能力を高める
- * 情報活用能力を高める
- * 他人への配慮や自己への気づきができる

このようなことができる子供たちを育てるために、学校として教師とどうしていかなければならないか考えていかなければなりませんよと、ある先生の講演で聞きました。このことは、子供だけでなく、教師も人間として必要なことだと思います。

4 いじめ・不登校・留年のない学校

自由に学校をかわることができたら、自分の行きたい学校を選ぶことができたら、学年の枠がなくなり何年で卒業というようになつたら、自由な発想の学校があつたら、学校がオープンだから地域がもっと学校のことを知っていたら、いじめ・不登校・留年への偏見がなくなつたら、いじめ・不登校・留年はなくなるのではないのでしょうか。